

小作争議調查表

No. 54

昭和十年四月分 (月報番號第 16 號)

場 所	京都郡 節九村大字上原	
	地 主 西田信教	關係人員 小作人 原田直治 外四名
地 主 關 係 團 體	+	小作人 全農節九支部
原 因	十作人側は早稲田の減収大割以上行つた十作科七割減を要求し、地主は四割減と相違して交渉交渉の結果地主は二月七日山岩北明前便を以て十作科未償告収と差出せしむ。	
要 求 事 項	十作科七割減要求	
經 過	二月十日十作人側は全農節九執行委員長田原春次外等と協定し地主は交渉の結果十作科七割減を要求し、地主は四割減と相違して交渉交渉の結果地主は二月七日山岩北明前便を以て十作科未償告収と差出せしむ。	
結 果	調停修水 一俵 任事通り十作科を以て十作科七割減を要求し、地主は四割減と相違して交渉交渉の結果地主は二月七日山岩北明前便を以て十作科未償告収と差出せしむ。	

(昭和十年 四月分)

法團 協調會 福岡出張所

備 考	結 果
	<p>一 地主は田賦三畝三歩に對する任事通り十作科四年人合七三歩四合に改訂減額し月賃十作科七割減を要求し、地主は四割減と相違して交渉交渉の結果地主は二月七日山岩北明前便を以て十作科未償告収と差出せしむ。</p> <p>二 十作人側は早稲田の減収大割以上行つた十作科七割減を要求し、地主は四割減と相違して交渉交渉の結果地主は二月七日山岩北明前便を以て十作科未償告収と差出せしむ。</p> <p>三 昭和十年四月分以降の田賦増徴十作科側地主に於て金三十五円に増地、増額十作科側金十円に夫の減額換算し十作人側金十五歩と昭和十年一月三日迄金十歩と昭和十年一月三日迄に積余を昭和十年十月十五日迄に納入する。</p>